



## 【美馬市に対するQ&A】

Q) 民間企業からの提案を受けて、すぐにやってみようと感じたのか、悩んだポイントはあったのか。すぐにやってみようと感じたのであれば、提案の中でどのような説明や訴えかけが印象的だった(心に刺さった)のかを教えてください。

- ✓ 提案に対して即断したのは前市長ですが、人口減少により行政単独での取組が難しくなっている中、民間企業との連携を模索していたところに、もともと信頼関係のあった、徳島ヴォルティスと大塚製薬から提案があったことが大きかったと思います。  
前市長は、民間企業の資金を活用し、成果に応じて対価を支払う仕組みに可能性を感じていましたし、当時は、悩みや迷いよりも、新たなチャレンジへの魅力が勝っていたように思います。  
また、「市を含めた三者で力を合わせて課題解決に取り組みましょう」という説明が印象的でした。



## 【前橋市に対するQ&A】

Q) 中間支援組織の選定理由を教えてください。

- ✓ デロイトトーマツ様は、国土交通省が発注しました「令和2年度 地方公共団体に対するまちづくり分野におけるソーシャル・インパクト・ボンドの導入支援業務」の受託者としてSIB導入支援自治体(モデル団体)の公募をおこなっており、そこに本市が応募し、選定されたことから、デロイトトーマツ様に業務の中間支援組織として参画いただくこととなりました。

Q) まちづくりが進む指標として「歩行者通行量」をとり、それだけでは不完全かもしれないという話があったが、さらに優れた指標(の可能性)としてどんな案があがったのか教えてください。たとえば、歩行者通行量と掛け合わせる指標として商店街の空き店舗率とか、売り上げの上昇率、など。

- ✓ 具体的には「笑顔の人の割合」、「滞在時間」などの案がありました。結果として、従前値がないことや計測方法が確立していないこと、また評価の考え方などの点から、指標としての選定には至りませんでした。これらについては、前橋市では歩行者通行量の増加などによる「にぎわい」づくりだけでなく、「居心地の良さ」も兼ね備えたまちづくりをすすめているという背景から、発案・検討されたものです。